

平成23年度

# コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン

## 研究開発領域第1回シンポジウム

平成24年2月22日(水) 10:00~16:30(開場9:45)

会場 ▶ 独立行政法人国立大学財務・経営センター「一橋記念講堂」  
東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号 学術総合センター  
主催 ▶ 独立行政法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター



事前登録制  
参加費無料

定員 450名

### お申し込み方法

参加ご希望の方は、必要事項をご記入の上、平成23年度「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」研究開発領域 第1回シンポジウム事務局 (株)イベントアンドコンベンションハウス内 担当:橋本・杉沼まで FAX、ホームページにてお申し込みください。  
※定員(450名)になり次第、お申し込みを締め切らせていただきます。

**FAX ▶ 03-5807-3019**

付属のFAX申込書に必要事項をご記入の上、上記FAX番号へお送りください。

詳しくはホームページをご覧ください

**ホームページ ▶ <http://www.ech.co.jp/jst-korei-shakai-sympo/>**



### アクセス



- ・東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄三田線、都営地下鉄新宿線 神保町駅下車 A8出口から徒歩3分
- ・東京メトロ東西線・竹橋駅下車 1B出口から徒歩4分

**FAX.03-5807-3019**

|    |          |          |        |
|----|----------|----------|--------|
| 〒  | 住所 (連絡先) | TEL番号    | E-mail |
| 必須 | お名前      | 必須 FAX番号 |        |
| 必須 | ご所属      |          |        |

※未回答の場合は、希望しないところを希望しないでお知らせください。

今後、ご登録いただいたメールアドレスや住所等に、本領域やRISTEXのシンポジウム等のお知らせを希望する  希望しない

### FAX用申込書

必要事項をご記入の上、下記FAX番号にお送りください。

平成23年度 コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン 研究開発領域第1回シンポジウム

# 開催にあたって

領域総括 秋山 弘子

東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授

世界最長寿国の日本は、まだどこの国も解決したことがない高齢社会の課題に挑戦し、世界に先駆けてモデルをつくっていかねばなりません。2010年に創設された研究開発領域「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」では、今回、平成22年度および平成23年度に取り組んできた活動成果をできるだけ多くの方々と共有するために研究開発領域第1回シンポジウムを開催します。

オピニオン・リーダーとしてこの分野の牽引者である柴田博氏に基調講演をお願いしました。長寿社会のパイオニアとして私たちはどう生きるか、示唆に富むお話をうかがえると期待しております。

本研究開発領域では、初年度に110件の応募から厳選して4つのプロジェクトを採択しました。また今年度には65件の応募から5つのプロジェクトを採択しました。いずれも、人生90年といわれる長寿社会において、できるだけ長く健康で自立して生活をする、たとえ弱っても安心して自分らしく生きる、そして、個々人に多様なライフデザインを可能にするコミュニティの実現に確実に貢献するであろうと判断したプロジェクトです。今回のシンポジウムでは9つのプロジェクトの取り組みをご紹介しますとともに、今後、わが国におけるコミュニティが目指すべき方向性について、2つの視点からパネルディスカッションを行います。

多くの方々のご参加と忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

## プログラム (予定・敬称略)

10:00~10:05

開会挨拶 (5分)

有本 建男 (独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター センター長

10:05~10:35

基調講演

『人間はどのようにして年をとるか ~考え方の変遷~』 (30分)

柴田 博 (領域アドバイザー/人間総合科学大学保健医療学部長・大学院教授)

10:35~10:45

『コミュニティで創る高齢社会のデザイン』

研究開発領域について (10分)

秋山 弘子 (領域総括/東京大学高齢社会研究機構 特任教授)

10:45~12:00

平成23年度採択プロジェクト紹介 75分 (各プロジェクト発表15分)

『社会資本の活性化を先導する歩行圏コミュニティづくり』

中林 美奈子 (富山大学 大学院医学薬学研究部 准教授)

『「仮設コミュニティ」で創る新しい高齢社会のデザイン』

大方 潤一郎 (東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻 教授)

『高齢者の虚弱化を予防し健康余命を延伸する社会システムの開発』

新開 省二 (地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長)

『高齢者の営農を支える「らくらく農法」の開発』

寺岡 伸悟 (奈良女子大学 文学部人文社会学科 准教授)

『高齢者による使いやすい検証実践センターの開発』

原田 悦子 (筑波大学人間系心理学域 教授)

12:00~12:50

昼休憩 (50分)

12:50~13:50

平成22年度採択プロジェクト進捗報告 60分 (各プロジェクト発表15分)

『在宅医療を推進する地域診断標準ツールの開発』

太田 秀樹 (医療法人アスミス 理事長)

『新たな高齢者の健康特性に配慮した生活指標の開発』

鈴木 隆雄 (独立行政法人国立長寿医療研究センター 研究所長)

『ICTを活用した生活支援型コミュニティづくり』

小川 晃子 (岩手県立大学社会福祉学部・地域連携本部 教授/副本部長)

『セカンドライフの就労モデル開発研究』

辻 哲夫 (東京大学高齢社会総合研究機構 教授)

13:50~13:55

休憩 (5分)



13:55~15:00

パネルディスカッション (65分 (全体質疑15分含む))

テーマ

『高齢者がはつらつと暮らすコミュニティとは』

—コミュニティにアクティブシニアが活躍できる場を創る—

■ モデレーター

岡本 憲之 (領域アドバイザー/日本シンクタンクアカデミー理事長)

■ コメンテーター

秋山 弘子 (領域総括)

木村 清一 (領域アドバイザー/東京大学 高齢社会総合研究機構

学術支援専門職員)

■ パネリスト

鈴木 隆雄、辻 哲夫、大方 潤一郎、寺岡 伸悟、原田 悦子

15:00~15:10

休憩 (10分)

15:10~16:15

パネルディスカッション (65分 (全体質疑15分含む))

テーマ

『生涯安心して自分らしく住み続けられるコミュニティとは』

—日本におけるエイジングインプレイスを考える—

■ モデレーター

秋山 弘子 (領域総括)

■ コメンテーター

永田 久美子 (領域アドバイザー/認知症介護研究・研修 東京センター

研究部副部長・ケアマネジメント推進室長)

大島 伸一 (領域アドバイザー/国立長寿医療研究センター総長)

■ パネリスト

太田 秀樹、小川 晃子、新開 省二、中林 美奈子

16:15~16:25

まとめ (10分)

秋山 弘子 (領域総括)

16:25~16:30

閉会挨拶 (5分)

斎藤 尚樹 ((独) 科学技術振興機構社会技術研究開発センター

企画運営室室長)

